



2014年トレンド予測

# ベビー・マタニティ領域

## マタニティ&ベビー用品の通販事業

『赤ちゃんのためにすぐ使う本』としてスタートし、2014年1月に創刊20周年を迎える「赤すぐ」シリーズは、妊娠・出産・育児をもっと楽しくするための情報と商品を提供しています。世界中からセレクトした、便利でおしゃれな育児グッズ&ウェアを通販するとともに、「ママ隊」「もうすぐママ隊」と呼ばれるモニター組織や、メルマガ会員、購入者の声を生かして独自の商品開発も行っています。

### ECサイト

赤すぐnet



### 通販誌/情報誌

赤すぐ (隔月刊)



妊すぐ (季刊)



産院向けフリーペーパー



内祝いフリーペーパー



キーワード

イクメン2.0と働き女子の「チーム育児」

# ヨザル夫婦



2010年に流行語大賞を取ったイクメンが一般化し、イクメン2.0へと進化。

2014年は、共働き夫婦が家事や育児を分かち合い、**チーム**で子育てする時代に。授乳は母親、抱っこや毛づくろいは父親が担当する**ヨザル**にちなんで、**ヨザル夫婦**と命名！



ヨザルとは…

『動物界のベストファーザー』

父親：ベビーの抱っこ&毛づくろい

母親：授乳

決まったパートナーと生涯を共にする。

ちなみに、オシドリは…

オスが寄り添うのはメスが卵を産むまで。

ヒナの世話はメスの専業。

さらに、毎年違う相手とカップリング。



## 2010年 『イクメン』

育児に参加し始めた「父」  
の姿にフォーカスした言葉。

男が育児参加することそのものに  
目新しさがあった時代。

夫 = **あくまでお手伝い**、共働き  
では妻の負担が大きかった



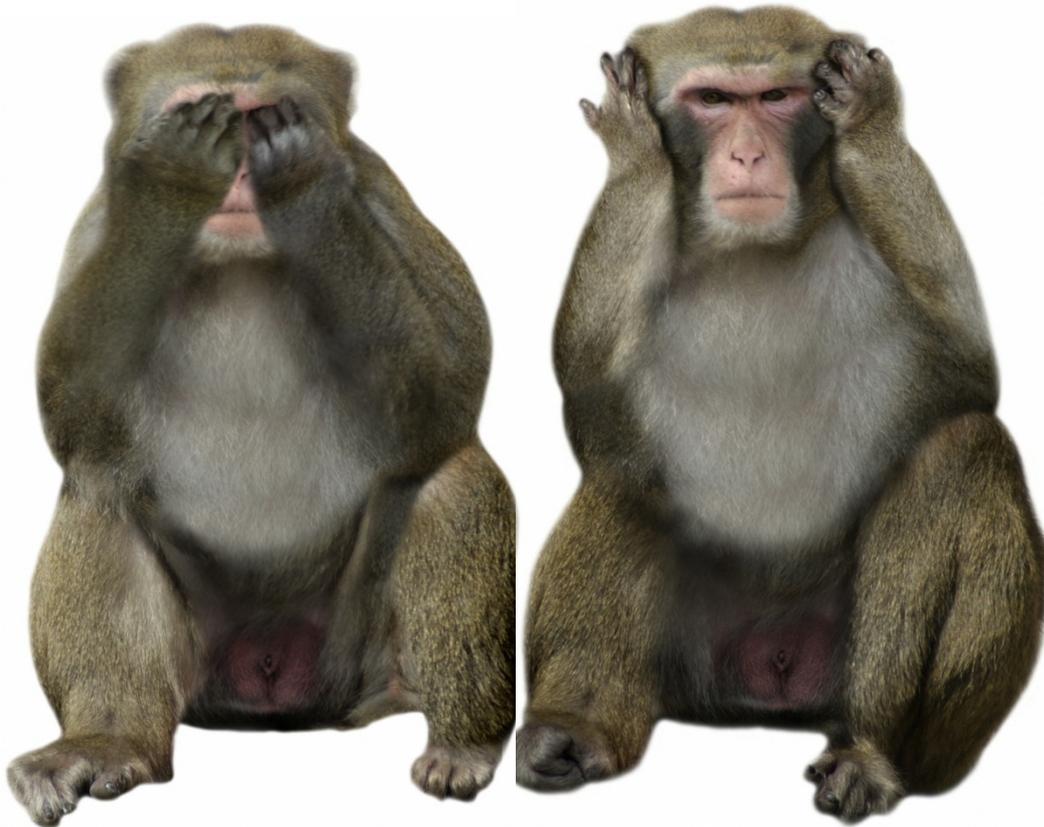
## 2014年 『ヨザル夫婦』

共働きでチーム育児をする「夫  
婦」の姿にフォーカス。

男が育児に「参加」「手伝い」  
するのではなく、夫婦が同じ立  
場で、共に主体的に育児をする  
時代へ。

夫 = **母乳以外はすべてできる**。  
寝かしつけ、病時対応も

ひとりよがりイクメンには  
こんな傾向も…



泣く子は**見ざる**  
妻の話を**聞かざる**

ヨザル夫婦



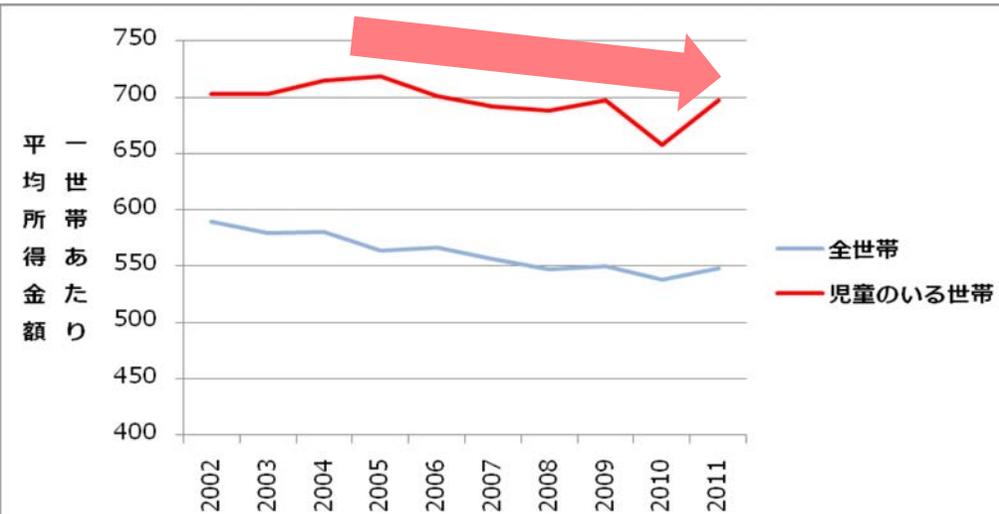
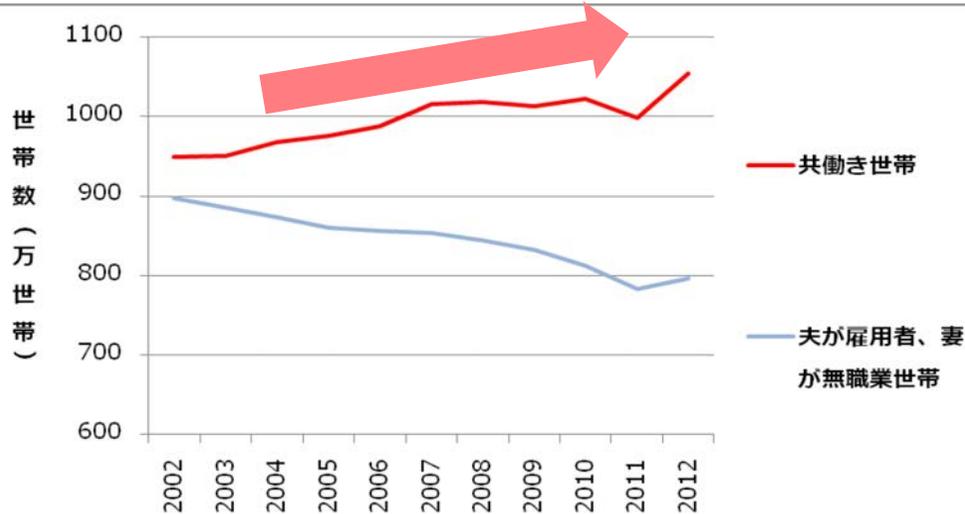
**ヨザル！**

## 共働き世帯の増加とともに女性が働くことへの考え方も変化

共働き世帯は右肩上がりで増加、一方で世帯年収は微減。  
女性が働く必要性と女性が働くことへの受容性が高まっている。

### 共働き世帯数は増加

### 世帯所得は微減



### 共働き等世帯数の推移

(参照元) 総務省 労働力調査

### 一世帯あたり平均所得金額の推移

(参照元) 厚生労働省 国民生活基礎調査

## 共働き世帯の増加とともに女性が働くことへの考え方も変化

共働き世帯は右肩上がり増加、一方で世帯年収は微減。  
女性が働く必要性と女性が働くことへの受容性が高まっている。

『子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい』  
とする考え方が増加

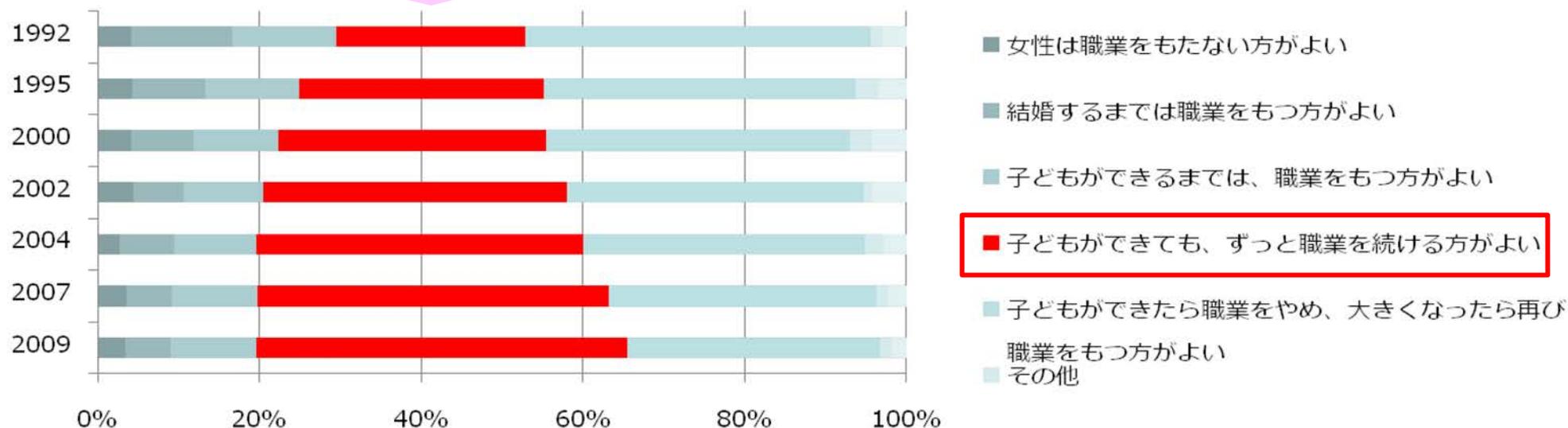


図. 女性が職業をもつことについての考え方の推移

## 不景気しか知らない若い世代は『等身大』の幸せを求める傾向

今の20～30代男性は、仕事での成功よりも『幸せな家庭をつくること』に幸せの価値を見出している。

20代、30代ほど、仕事よりも家庭に  
男の幸せを見出す傾向



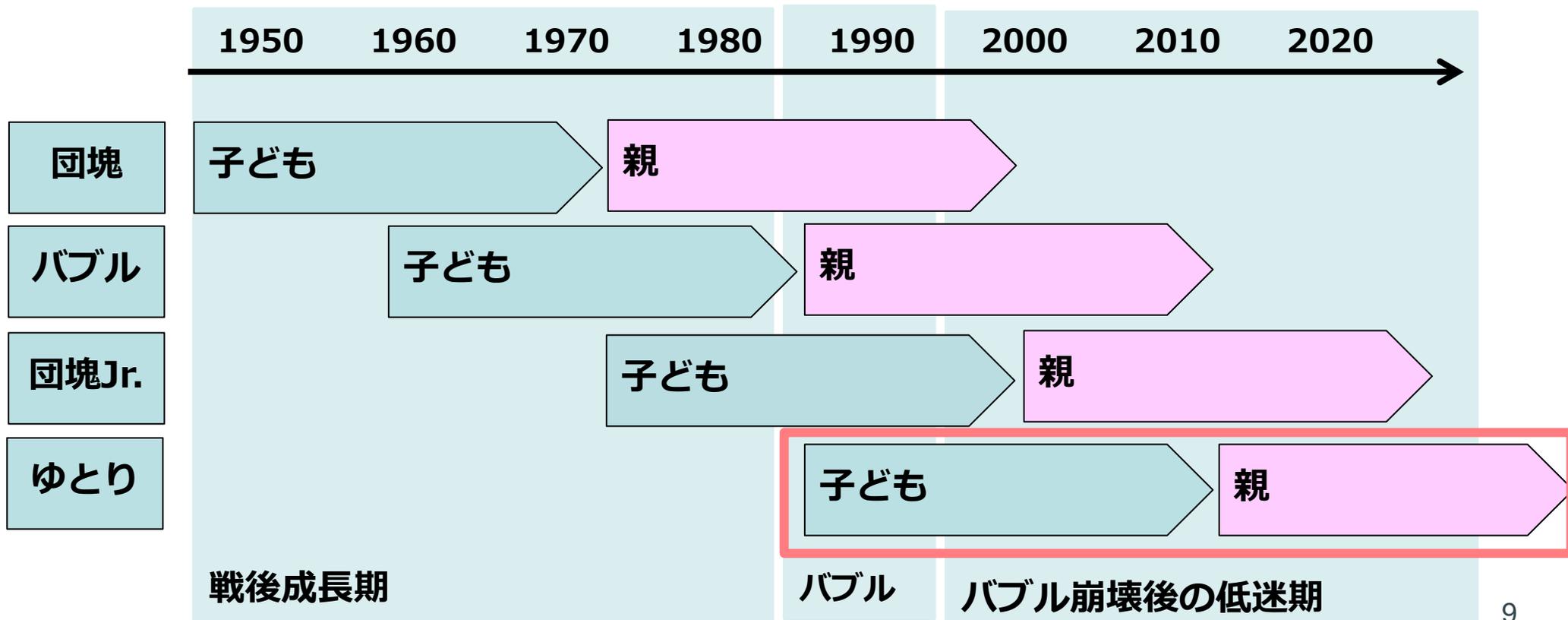
図. 「男の幸せ」とは

(参照元) 明治安田生活福祉研究所 「2012年 男性の幸せに関する意識調査」

## 「ゆとり世代」が親になり始めるのが2014年

物心ついた頃からバブル崩壊後の低迷期を生きてきた世代。

『さとり世代』とも言われ、過度に夢を持ったりせず、浪費せず合理的に行動する世代と言われている。そんな世代だからこそ、家庭に幸せを求め、夫婦で助け合う形が自然に増加していくのでは。



## イクメンの認知度も上がり、父親の育児支援も強化されつつある

厚生労働省は男性の育児休業取得率を現状の1.89%から2020年度には13%に上げるなどを目標に掲げ、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組むイクメンプロジェクトを組織。

2013年からは男性の育児参加を積極的に促進しつつ、業務改善を図る企業を表彰する『イクメン企業アワード』を実施。

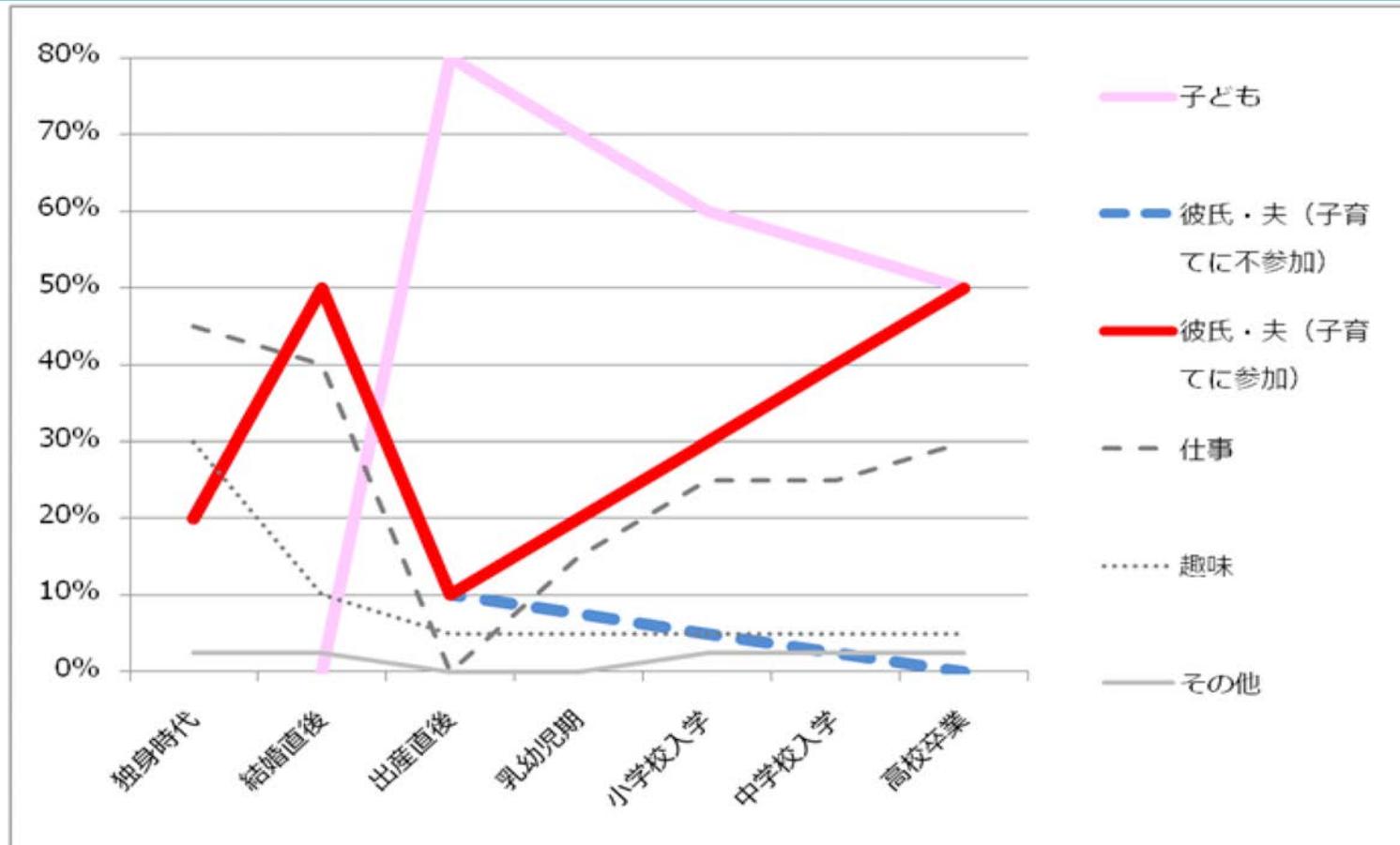
育てる男が、家族を変える。社会が動く。



**イクメンプロジェクトが  
育児を積極的に行い、  
業務改善を図る企業を  
応援します。**

## 父親の子育て参加と夫婦の円満度は相関する

女性の夫に対する愛情曲線は、夫が子育てに参加した場合は回復していくが、参加しないと低迷したまま。「子育てはかすがい」であることがわかる。

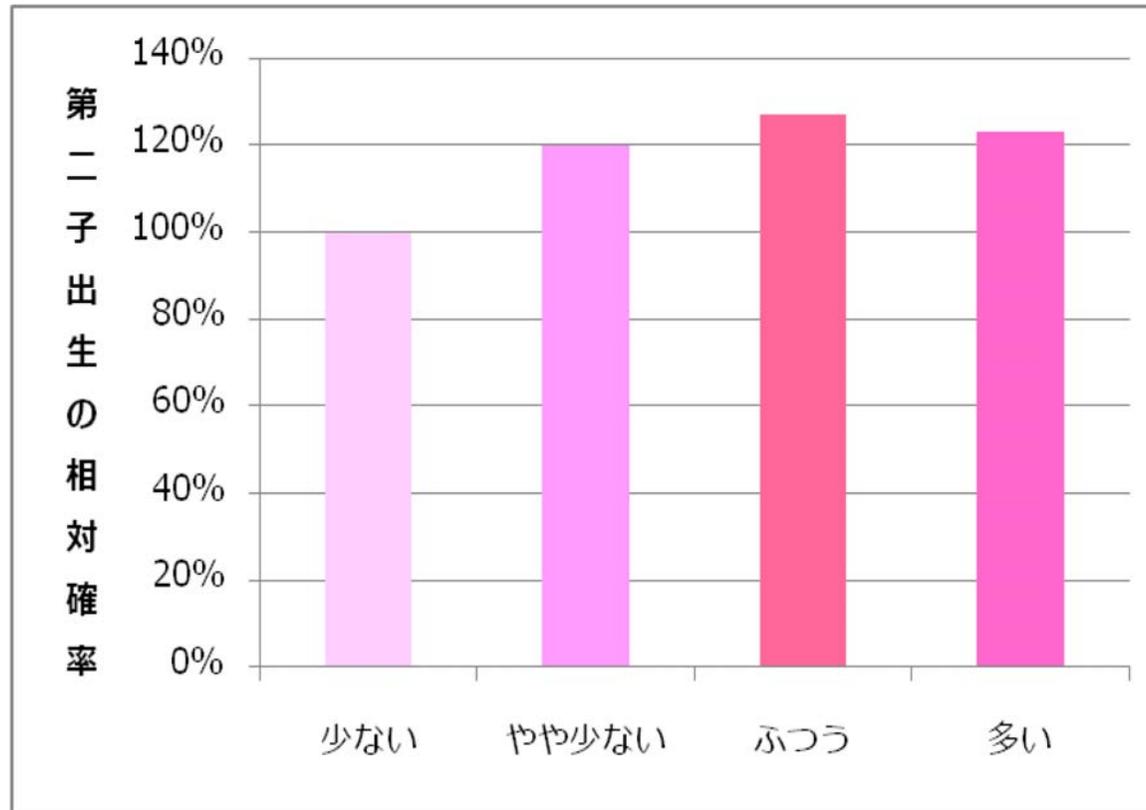


女性の愛情曲線

(参照元) 株式会社東レ経営研究所

## 父親の子育て参加と夫婦の円満度は相関する

夫の子育て参加度は第二子出生率とも相関。



夫の育児頻度と第2子出生の関係

【小田原在住 Oさん】

	妻	夫
年収バランス	50%	50%
育児・家事バランス	30%	70%

## エピソード

- ・ 夫は老人ホーム相談員、休みは日月
  - ・ 妻は老人ホームの調理師
  - ・ 子ども3人の大家族（2人目が双子）
  - ・ 長女は保育園、双子も来春から保育園
- 
- ・ 夫は保育園の送り迎え週5回。お風呂掃除、ゴミ捨て、長女のお風呂などなど。  
2人目妊娠中から職場に相談の上、基本的に定時に帰るように。
- 
- ・ 妻の育休中も食事作りなど自分から家事を担う。朝ごはん、お昼のお弁当、夕食すべて夫。



自分のなかでは、  
当たり前前を当たり前  
前にやってる感覚

【足立区在住 Oさん】

	妻	夫
年収バランス	50%	50%
育児・家事バランス	50%	50%



## エピソード

- ・ 夫は左官工、休みは日曜のみ
- ・ 妻は某通信会社にて経理（フルタイム）
- ・ 授かり婚で、ともに25歳
- ・ 長男は1歳3ヶ月、8ヶ月から保育園へ
- ・ 夫は保育園の迎え週5回。お風呂掃除、洗濯。子どもの病時は、交代で仕事を休む。
- ・ 妻は時短勤務ではなく、フルタイム勤務。繁忙期は帰宅が深夜になることも。その時は夫が夜遅くまで一人で育児を担当。
- ・ 二人も忙しい時は夫方の祖母に手伝ってもらうことも。

もともとパパは亭主関白タイプだったけど、わたしが仕事を続けたいから変わってもらいました！

キーワード

イクメン2.0と働き女子の「チーム育児」

# ヨザル夫婦



2010年に流行語大賞を取ったイクメンが一般化し、イクメン2.0へと進化。

2014年は、共働き夫婦が家事や育児を分かち合い、**チーム**で子育てする時代に。授乳は母親、抱っこや毛づくろいは父親が担当する**ヨザル**にちなんで、**ヨザル夫婦**と命名！